

七ころび 八起き

第5号
平成24年
夏号



Higashikakogawa Hospital

医療法人達磨会 東加古川病院

<http://www.tatsumakai.jp>

理念

- 1) 精神医療に携わることにより自覚と誇りを持ち、全力を尽くす。
- 2) 患者様、ご家族を含めた地域の人々の満足と信頼が得られるような病院づくりを目指す。
- 3) 地域精神医療に貢献するために、精神保健活動、啓蒙活動、対外活動を積極的に行う。
- 4) 安全な医療と安心できる環境を提供するために継続的な改善を重ねる。
- 5) 患者様の権利を尊重する。
- 6) 安定した経営基盤を維持する。

作品紹介

作業療法・デイケア 参加者の作品



作業療法：病棟壁飾り



デイケア：絵手紙



病院創立75周年を迎えて



平成24年6月9日に東加古川病院は創立75周年を迎えました。

昭和12年6月9日に加古川脳病院として120床で発足し以後、増築・増床を重ね現在の8病棟425床となっております。その間、昭和40年には医療法人として組織整備を行いました。

最近では広報誌に何度も記載されたように4年程前より病棟の改築計画に着手しI期・II期工事を経て、本年3月に新病棟、生活訓練センター及び人工地盤のグラウンドの完成となり療養環境の向上、退院促進に向けての整備が整いました。

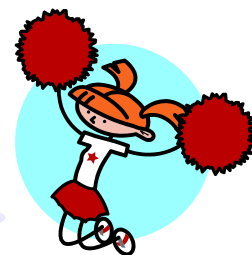
今後も地域に根ざした医療、地域の方々から信頼される病院をめざして頑張っていきたいと思っておりますのでご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



事務長 中田 喜景



行事特集



「運動会」10年ぶりに太陽の下で開催!!



5月31日、晴天の下、人工芝グラウンドで運動会が開催されました。

当院では2002年まで、旧グラウンドにて全病棟参加の「運動会」が行われていました。その後、駐車場の拡大などに伴いグラウンドがなくなり、一昨年までは室内のホールで全8病棟を4病棟ごとに分けた「ミニ運動会」として実施してきました。そして、オリンピックイヤーとなる2012年、生活訓練センターが完成し、新グラウンドにて10年ぶりに盛大な「運動会」を催すことができました。

午前の部では院長先生との“じゃんけん大会”で盛り上がり、“パン食い競争”・“障害物競走”では笑顔の中にも真剣な勝負を見ることが出来、見学に来られた患者様や職員からも多くの声援が聞こえていました。

午後の部では“借り人競争”で患者様と職員が一緒になって走りました。また、全患者様が参加し“玉入れ”を行いました。以前の「ミニ運動会」では、患者様全員で行う競技はありませんでしたが、生活訓練センター・人工芝グラウンドの完成により全病棟が“玉入れ”に参加することができました。

患者様からは「楽しかった。」「たくさんの患者さんとふれあえて良かった。」などの声も聞かれ、来年からもより一層盛り上げていきたいと意気込みを新たにしました。



☆院長先生との
“じゃんけん大会”



☆おなじみ
“パン食い競争”



☆患者様&職員による
“借り人競争”



☆全患者様参加の“紅白玉入れ”



「フライングディスク大会」に参加しました!



～大会の様子～
白熱した対戦が繰り広げられていました!

6月6日、兵庫県立障害者スポーツ交流館において、兵精協主催「第7回フライングディスク大会」が開催されました。今大会は24病院が参加し、4ブロックで対戦する大人数の大きな大会となりました。当院からは男女合わせて11名が参加、1チーム5名の2チームで団体戦に出場しました。出場者の皆様は「がんばろう!!」と意欲満々で試合に臨みましたが、接戦の結果、惜しくも敗れてしまいましたが、他病院の団体戦や個人戦の様子を楽しく観戦できました。



看護研究発表



～当院看護師による学会発表が行われました～

6月1日～3日にかけて日本精神科看護学術集会が地元、兵庫県の国際会議場で開催されました。「精神科看護と社会貢献」のテーマで多くの研究論文発表とシンポジウムがあり、当院からは2つの研究論文を発表致しました。

今回の学術集会には、多数の看護師が参加して日頃の看護を振り返る機会になったと同時に、精神保健福祉の動きをタイムリーかつ正確に把握することの重要性を実感しました。そして、看護の質の向上を図ることが社会貢献に繋がるとの想いを強くしました。

今後も全国に発表できるよう日々の看護実践の向上を目指したいと思います。

[看護部長 田中 眞智子]



西3病棟 看護師 上道 三津子

西3階病棟では「退院支援事業の活用や、看護師の役割、連携のありかた」についての看護研究をし、院内・日精看兵庫県支部・日本精神科看護学術集会の其々において発表しました。

県下でも事業を有効に活用できている病院は少ないということで、質問も活発で関心の高さが伺えました。県協会の優秀論文に選出され、支部表彰を受けることができました。この研究で得た学びを、今後の業務に活かしていきたいと思います。



医局コラム vol.4



「熱中症対策はお済みですか？」

医局 玉田 泰明

今年も暑い夏がやってきました。ここ数年、地球温暖化やヒートアイランド現象と併せて「熱中症」がマスコミで取り上げられることが多くなり、不安に感じておられる方も多と思います。特に昨年からは「可能な限り節電を」という社会背景もあり、自宅で熱中症になり倒れる人も増えています。時には命に関わる熱中症。医学的にも怖い病気です。でも、正しい知識で予防すれば100%予防できる病気でもあります。100%？と思う方もおられるかもしれませんが、寒い冬に熱中症で倒れる人はいないのであります。

何にも難しいことはありません。とにかく「水分補給」と「暑さを避けること」。こまめな水分と少しの塩分補給、気温・室温に注意して暑さから身を守ること。これだけです。節電を意識するあまり、熱中症予防を忘れないように・・・扇風機、エアコン、日陰、風通し、打ち水・・・地域で声をかけ合って、皆で予防したいですね。

また、昨年からは熱中症をきたす危険性が高い日には、気象庁から高温注意情報が発令されるようになりました。日頃から天気予報などで確認し、対策に活かしましょう。





取 り 組 み

☆ “七夕会”をおこないました ☆

高齢者病棟にて“七夕会”が実施されました。多くの患者様が真剣な表情で考え、短冊にその願いを込めておられました。

七夕は「牽牛星と織姫星の願いが叶ってこの日に会う」という中国の伝説が起源とされ、笹竹には「退院したい」「元気になりたい」等、患者様のたくさんの短冊がつけられ、夜空に願い事を届けました。



～病棟内に飾られた笹飾り～

[東4病棟スタッフ]

* “そうめん流し”をおこないました *

女性開放病棟では“そうめん流し”をしました。薬味・そうめん・つゆの準備など、自分で出来そうなことにチャレンジしました。初めての方も多く「明るい笑顔がいっぱい」「おなかもいっぱい」の楽しい七夕会になりました。

[西3病棟スタッフ]



～デイケアの本格的な装置をお借りしました～

外来診察のご案内

平成24年8月1日現在

曜日	月	火	水	木	金	土
午前	森院長	玉田	森院長	森院長	高内	森理事長
	玉田	大村	高内	太田	木村	森院長
	藤田	木村	浅野	田原	藤田	浅野
		太田	谷川	新倉		大西
午後	玉田 (再診のみ)		森院長 〈物忘れ外来〉	堀野 〈思春期外来〉	大西 (再診のみ)	

広報誌 (PDF) はホームページからも閲覧・印刷可能です。



編集後記

蝉の声とともに夏本番となりました。当院も計画停電の対象になったことを機に、患者様の体調に配慮しつつ職員一丸となって停電対策・節電に励んでいます。コラムにもありますとおり、皆様も熱中症にはご注意ください。広報担当 (自宅で緑のカーテン挑戦中)

医療法人達磨会 東加古川病院

〒675-0101 加古川市平岡町新在家 1197-3

TEL : 079-424-2983 (代表)

FAX : 079-424-2985

HP : <http://www.tatsumakai.jp>

当院では2004年にISO9001
を取得しています



QJ01045/ISO9001:2008



- 公共交通機関でのご来院
JR東加古川駅下車 北口より徒歩10分
- お車でのご来院
加古川バイパス 加古川東ランプ下車(山側すぐ)